

<保護者啓発と幼保小連携>

活動の名称

つながる因北つくしっ子活動

団体等の名称

尾道市立外浦保育所



活動に含まれる（連携している）団体等

- ☒ 幼稚園 ☒ 保育所 ☒ 小学校 ☐ 中学校 ☐ 高等学校 ☐ 中等教育学校 ☐ 特別支援学校
☐ 児童館 ☐ 公民館 ☐ 図書館 ☒ PTA ☐ 子育て・教育支援団体 NPO ☐ 企業・事業所
☐ 病院・保健所 ☐ 早寝早起き朝ごはん運動・家庭教育支援に関する実行委員会・協議会
☒ 行政（教育委員会） ☒ 行政（保健・福祉部局） ☐ 行政（その他の部局）
☒ その他（尾道市地域栄養士会、安田女子大学）

活動の概要

◆ 活動の目的・趣旨

因北地域幼保小連携プロジェクト会議の取組みを通して小学校区の連携力を高め、基本的生活習慣を定着させることで『小学校につながる力』を育てる。

◆ 主な活動内容

- 教材研究 : CD・DVD作成



早寝早起き朝ごはん



早寝早起き朝ごはん
子どもの脳を伸ばす

- 早寝早起き朝ごはん体操



- 家庭教育講座



○アプローチカリキュラム『小学校へつなげる力』（保護者用）

	小学校につながる力	外浦保育所 5歳児
1日の生活	① 自分の方で時間までを覚える。 ・朝の会、昼の会、寝る会の時間進行をし、自分たちで食を始める経験を重ねる。 ・② 1日の生活の流れ（起床時間、朝食時間、おやめ時間、絵画時間等一定の時間ごとに区切られている。） ・③ 活動時間を意識し、自分で活動の区切りをつけ、後片付けをする。	・家庭ですること ・① 生活リズムを整えるために、早寝早起きの生活リズムを整え、9時までは睡眠する。 ・② 自分で起きる時間・寝る時間を意識させる。（目覚まし時計の利用） ・③ 子どもの話を聞き、その日の子どもの姿に共感し思いを共有する。

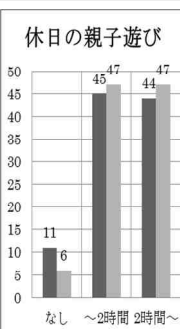
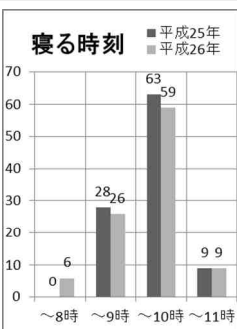
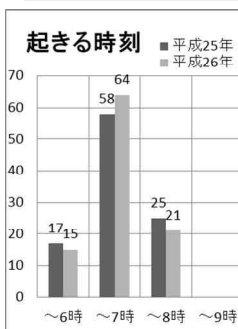
年齢別に保育所と家庭ですることを具体的に示した

- 生活実態調査の実施『保育所』『地域』
 ○ 広報紙『保育所だより』『子育てBOX』
 幼保小『因北つくしっ子便利』

◆ 活動の成果と今後の展望

活動の成果

- 保護者の意識が向上し、「早寝早起き朝ごはん」「親子で一緒に遊ぶ」ことが改善できた。
・早寝早起き朝ごはんの大切さや、具体的な子育ての方法がわかり「できそう」「やってみよう」と意欲をもった。
- 子供の生活リズムが向上した。
・朝起きる時刻が早くなり、寝る時刻も早くなるなど改善してきている。
・夜型の生活でテレビやゲームをする子供が多かったが、絵本の読み聞かせなど親子の遊びの時間が増えた。
- 保護者用アプローチカリキュラム『小学校へつなげる力』を作成し、保護者と幼保小が見通しをもち連携できた。
・就学を見通して、各年齢の生活全般について育てたい力を共有できた。



今後の展望

- 『生活アンケート』や、『アプローチカリキュラム』により、家庭との連携を継続する。
- 基本的生活習慣定着に向け教材研究する。
- 『因北地域幼保小連携プロジェクト会議』の取組みを継続し、『早寝早起き朝ごはん』の取組みを地域全体のものとして定着させる。